

ここがポイント!

テント張りのABC

- 大きいテントのそばは団体が夜がうるさいのでできるだけ避けましょう。
- 水がたまりやすい窪地はできるだけ避け、排水のいい平らな場所に張りましょう。
- 川の付近では、川の増水した後を探し、それよりも上の場所に張りましょう。
- 地面が傾斜しているときは、テントの入り口は低い方にして、風に対しても風下になるように張り、また谷や樹木の枝が一定方向に向いている場所は風の強いところなので避けましょう。
- 夜にテントを張るときは少しロープをゆるめしておきましょう。夜露に当たった後日光に当たると、テントがピンと張ります。強く張っておくと、屋間にペグがはずれてしまうこともあります。
- 張る前に必ず整地しましょう。石や木の枝が転がっていないか、岩が出ていないかなど調べてください。
- 公共のキャンプ場では水場やトイレに近からず遠からずの場所にしましょう。しかし係員に場所を指定されたらそれに従うようにしましょう。

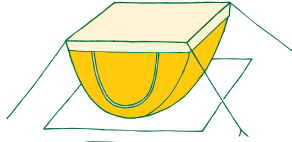
入口 → テント

ドーム型テントのたたみ方

たたみ方はドーム型もロッジ型も基本的には変わりません。ロッジ型のたたみ方はここでは紹介できませんので、ドーム型を参考にしてください。

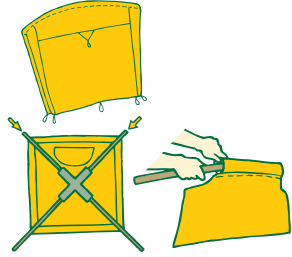
①ボトムを乾かす

本体を逆にひっくり返して、ボトムをよく乾かせます。風に飛ばされないようにペグで仮止めするのを忘れないようにしましょう。



②アウターテントをたたむ

乾いたら縫目に沿ってアウターテントをふたつに折ってください。しかし縫目は折らずに少しずらした方が折りがやすく、しかも目止めテープを傷めません。



③ポールを抜く

スリープ式のテントはポールをいったん押しこんでから抜くようにするとスムーズに抜けます。抜いたポールは真ん中で折り、さらに四つに折ります。



④インナーテントをたたむ

インナーテントを広げ、収納袋の長さに合わせて、空気を抜きながらたたみます。



⑤ポールを中にして巻き上げる

アウターテントをインナーテントの上に重ね、ポールを芯にすると巻いていきます。最後にひもでよくしばって収納袋に入れます。

テント張りに使われるロープの結び方

・張り綱結び

テントの張り綱の長さ(張りの強さ)が調節できます。

・もやい結び

ロープの端に固定した輪を作ります。幅広い用途に使えます。

・ねじ結び

ロープを樹木に結びつけるのに便利な結び方です。

・てこ結び

ロープを杭等に結びつけるのに便利です。

・ふた結び

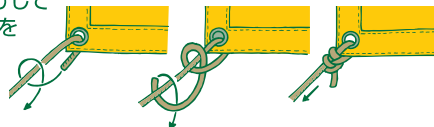
ロープをテントの支柱やグロメット、樹木などに結びつけるのに使う結び方です。

<ふた結びでテントを張る>

①張り綱をグロメットに通してひと結びします。

②もう一回ひと結びして

強く引き、結び目を締めます。



サービスのご案内



配送・宅配便 切り売り商品 修理

●クレジットもご利用になれます。



返品・交換 表札・額の受注 スワキーづくり



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

テントの張り方

自分でやってみよう!

セキチュー D.I.Y How To

98



家の中での生活
喫できるアウトド
増えてきています。
の基本は何とって
ます。

とはまたひと味違った面白さが満
アライブを楽しむ人たちが年々
そんな中でもアウトドアライブ
もテントを張ることから始まり
ます。

工事用のビニールシートを木に掛けただけの簡単なもの、RV車から直接テントを張る形式のタープ、豪華なロッジ型のテントまでいろいろありますが、ここでは一般的なドーム型の張り方を中心に紹介します。

Do it Yourself & Save

テントの基本的な張り方

ドーム型テントの張り方



① パーツのチェック

張る前に必ずパーツが揃っているかどうか確認してください。さらに万が一のためにベグやロープは予備も用意しておくといざというときに安心です。

② 場所を決める

平らな地面にインナーテントを運んで、風が吹きこまないように入り口を風下に向けて、ポールを通すスリーブがよく見えるようにして敷きます。

③ ポールをセットする

ポールを、中のショックコードを傷めないように、ていねいに伸ばしてください。伸ばしたポールは形状別、長さ別に揃えておきます。



④ スリーブにポールを通す

最初は基本になるX字型のポールを押しこむようにしながらスリーブに通していきます。スリーブの先から引っぱるようにしながら通すと、ポールのジョイントがはずれてしまいますので気をつけてください。



⑤ インナーテントの完成

すべてのポールをスリーブに差しこみ、そしてそれぞれのポールをグロメットに差しこんでインナーテントが完成です。これをグラウンドシートの上にセットしてください。



⑥ アウターテントをかぶせる

風を利用しながらアウターテントをふくらませるようになりながら、インナーテントにかぶせていきます。(前室用のポールがついているタイプはアウターテントをかぶせる前に立てておきましょう)



⑦ アウターテントをベグかまたはグロメットに固定します(インナーテントが完成した時点で固定するタイプもあります)。ベグはロープに対して垂直になるようにしてください。



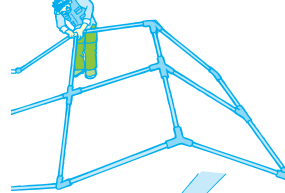
ロッジ型テントの張り方

● ロッジ型テントの各部の名称



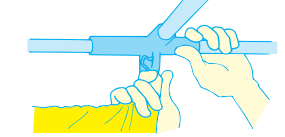
① 屋根のポールを組み立てる

まず説明書通りに、屋根のポールを組み立てていきます。脚ポールは一段折れ曲げておきましょう。



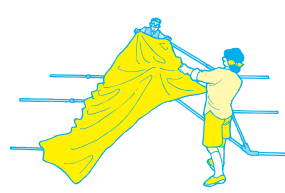
② インナーテントをセットする

脚ポールはまだ折れ曲げたままで、インナーテントについているフックやマジックテープで、インナーテントをポールのジョイント部分に吊り下げっていきます。



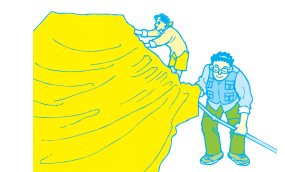
③ アウターテントをかぶせる

風でふくらませるようにしながらアウターテントを屋根にかぶせていきます。かぶせ終えたらテントの中に入り、アウターテントをマジックテープでポールに貼りつけてください。



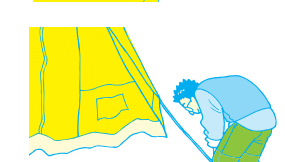
④ 脚ポールを伸ばす

ジョイント部分について土やゴミを取り除いてから、まずひとりがポールを立てるようになり、もうひとりがポールを立てていきます。もし人数があるときは6本の脚を同時に持ち上げたほうがうまくいきます。



⑤ ベグで固定して完成

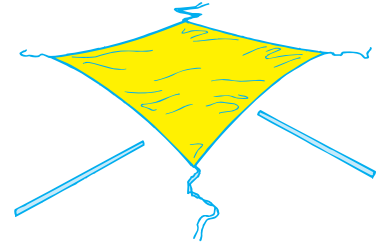
インナーテントにしわが寄らないように注意しながら、脚ポールの少し外側にベグを、ロープと垂直になるようにして打ちつけてください。



タープの張り方

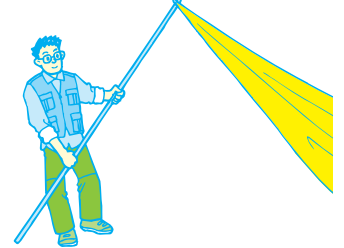
① 場所を決める

なるべく平らな地形を選んでください。タープの稜線が風向きに対して垂直になるように全体を広げ、パーツの種類ごとに分けます。2本のメインポールと張り綱(ロープ)のベグの位置を決めたら、ベグを反止めしてください。



② メインポールをたてる

ポールの先端をシートのごロメットに差しこみ、ロープをポールの長さの約1.5倍の長さにしてシートの上にセットします。そして①で固定したベグにロープを掛けて、ピンと張るように調節しながら、ポールを立てていきます。ポールの先端をタープの外側に傾けるように立てると安定します。



③ サイドをセットする

ポールを立てたら、ロープの長さや角度を調節しながらサイドの先端のごロメットにロープをセットしてください。タープがピンと張っているかどうか確認し、ロープの先端にベグを引っ掛けて、ベグを地面に打ちつけます。



④ 全体をチェックする

張り終えたら、もう一度タープの張り具合を確認してください。たるんでいるときはポールの傾きやロープの張り具合で調節して、ベグを打ち直してください。

